

「女川原子力発電所周辺環境放射線監視システム更新業務」に係る質問への回答

令和6年5月13日

	質問	回答
1	審査基準・配点の「1. 事業実行力、2. 企画提案内容」の評価方法や「3. 価格評価」における妥当性・バランスの評価は絶対評価でしょうか、相対評価でしょうか	絶対評価となります。
2	仕様書上クラウド環境の構築とございますが、クラウド以外のシステム構成の提案は可能でしょうか。	災害時のリスク分散、サーバ拠点の耐震性等の観点からクラウドのみの想定としております。
3	スペクトル解析の手法として指標線量率以外の手法を用いることは可能でしょうか。	指標線量率は必須ですが、他により良い方法があればご提案ください。
4	「別添資料3_インターフェース一覧」にある伝送方式が高速パルスの測定器は備考欄に「・既設測定器インターフェースを踏襲」とございますが、2. 1システム概要に「(中略)併せて、測定器からのデータ伝送方式がパルス伝送方式のものについては、FTP 伝送方式に改修すること。FTP 伝送に際して、時刻同期も極力 LAN 化を行うこと。」とございます。測定器とテレメータ子局装置間のインターフェースについては既設測定器のインターフェースを踏襲し、テレメータ子局装置と中央・副クラウド間を FTP 伝送方式に改修するとの認識でよろしいでしょうか？	測定器とテレメータ子局装置間のデータ伝送方式をパルス方式から FTP 伝送方式へ改修することを想定しています。 また、テレメータ子局装置と中央・副クラウド間についても、FTP 伝送方式にすることを想定しています。 なお、広域 MS の放射線測定装置においては、パルス伝送のままを想定しておりますが、現在設置している放射線測定装置に対応したテレメータ子局装置を導入することに留意するとともに、FTP 伝送方式などのより良い方法があればご提案ください。
5	「別添資料3_インターフェース一覧」の周辺可搬 MP の備考欄に「・既設測定器インターフェースを踏襲、但し送信方式を FTP-PUT→FTP-GET へ改修することで、中央・副クラウドからの同時取得を可能とする。」とありますが、以下のように周辺可搬 MP を改修する認識でよいでしょうか。 既設：周辺可搬 MP から収集サーバへ FTP-PUT 更新後：周辺可搬 MP へ中央・副クラウドから FTP-GET	ご認識のとおりです。
6	中央/副クラウドの各仮想クライアントにインストールすべきソフト(オフィス、Adobe など)があればご教示ください。	仕様書 P. 15 (3) 口に記載のソフトを想定しています。
7	今回の業務範囲に関して、大気モニタシステム、簡易型電子線量計システム、可搬型モニタリングシステム等の改造まで含む認識でしょうか。	ご認識のとおりです。

8	移動式高線量放射線測定システムについて、原子力安全技術センターの担当者様の連絡先をご教示頂けないでしょうか。	公益財団法人原子力安全技術センターのホームページをご確認のうえ、そちらに記載の連絡先にお問合せください。
9	主・副クラウドについて、回線との接続用のルータハードウェアをデータセンターに設置予定ですが問題ないでしょうか。	本仕様書に記載した事項を満たすのであれば問題ありません。
10	水位計のシステムの納入メーカー及び担当者様をご教示頂けないでしょうか。また、本システムについてはテレメータシステムとは独立し、別システムを構築する想定でしょうか。	現在、大型水盤には水位計を設置していないため、今回の業務の中で納入することとなります。なお、納入する水位計について、メーカーの指定はありません。また、本システムは独立したシステムを想定していますが、ランニングコスト等も比較したうえで環境放射線監視システムと同一システムとしたほうが有意であれば、ご提案ください。
11	測定器からのデータ伝送方式がパルス方式のものをFTP伝送方式へ改修する必要があるかと思いますが、テレメータ子局装置のハード仕様には高速パルスモジュール入力部、低速パルスモジュール入力部の記載があります。FTP伝送方式へ改修する場合、不要かと思いますがどのような想定でしょうか。	測定器とテレメータ子局装置間のデータ伝送方式をパルス方式からFTP伝送方式へ改修することを想定しています。広域MSの放射線測定装置においては、パルス伝送のままを想定しておりますが、現在設置している放射線測定装置に対応したテレメータ子局装置を導入することに留意するとともに、FTP伝送方式などのより良い方法があればご提案ください。これらを踏まえて、高速パルスモジュール入力部、低速パルスモジュール入力部が不要となる場合は、その旨ご提案ください。
12	大気モニタシステム、簡易型電子線量計システム、可搬型モニタリングシステム等で現行サーバが出力している帳票は同じものが必要でしょうか。	見た目が全く同じである必要はありませんが、現行サーバで表示できるデータは、新システムでも表示、出力できることを想定しています。
13	大気モニタシステム、簡易型電子線量計システム、可搬型モニタリングシステム等の過去データの移行は必要でしょうか。	既設システムに保存されている全ての過去データの移行が必要です。
14	移動式高線量放射線測定システムは放射線測定車のことだという認識ですが、定点測定でしょうか。走行サーベ이를想定していますでしょうか。	当該システムは、車に搭載できる可搬型の放射線測定器であり、走行サーベいを想定しています。

15	環境放射線監視センターとオフサイトセンターに操作端末（デスクトップパソコン）がありますが、各所には無停電電源装置不要でしょうか。	環境放射線監視センターのデスクトップパソコン用の無停電電源装置は不要と想定しておりますが、必要があればご提案ください。 なお、オフサイトセンターの操作端末はノートパソコンの想定であり、無停電電源装置は不要です。
16	操作端末およびタブレットは仮想クライアントを使い、クラウド上のデータにアクセスするという認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
17	「3. 12 測定結果の読み込みツールの作成」に「データベースへの取り込み用端末を主監視局に用意すること。」と記載がありますが、操作端末以外に取り込み用の端末を用意するということでしょうか。	操作端末で読み込みできれば別の端末は不要です。